

総目次

『外交史料館報』総目次(第二十一号～三十号)

【パネルディスカッション】

「幣原外交の時代」

基調報告者…黒沢
パネリスト…細谷
波多野
戸部

文貴
千博
澄雄
良一

【講演会・研究会記録】

第二次世界大戦における日本と仏印の関係について―日仏双方の史料的状态を中心に―……………立川

歴史的文書のための保存・管理……………稲葉

日中戦争・第二次世界大戦と日独中ソ関係……………田嶋

蒋介石と日本……………山田

ベトナム戦争をめぐる日本外交……………昇

パックス・アメリカーナの変容と日本外交の「戦後」の終わりの始まり……………亜美子

太平洋戦争とは日英戦争ではなかったのか……………細谷

戦争の呼称をめぐる諸問題……………庄司

沖縄返還と日本外交……………河野

戦後賠償をめぐる国際政治……………宮城

アジア太平洋戦争と東南アジア……………後藤

冷戦期日本の国連外交―チャンスとジレンマの狭間で―……………潘 亮 第二十七号

日本とトルコで大使館が開かれるまで―近代外交システムの拡大と日本とトルコの常駐在外公館網の発展―……………鈴木 董 第二十八号

日本人は日中戦争をどのように見ていたのか……………戸部 良一 第二十九号

占領と戦後日本―GHQ文書と外務省文書から―……………福永 文夫 第三十号

【座談会】

「外交アーカイブの役割」について……………波多野 澄雄

佐藤 晋 第二十四号

細谷 雄一 第二十四号

原口 邦紘

『日本外交文書 第二次欧州大戦と日本』所収文書から見る欧州大戦への日本の対応方針……………戸部 良一 第二十七号

黒沢 文貴 第二十七号

富塚 一彦

浜井 和史

【論評】

『日本外交文書』昭和期Ⅱ第二部第四卷・第五卷所収

「通商擁護法発動問題」関係文書について……………細谷千博、本宮一男、原口邦紘 第二十一号

『日本外交文書』昭和期Ⅱ第一部第五卷所収「川越・張群会談」関係文書について……………戸部良一、服部龍二、富塚一彦 第二十二号

『日本外交文書 日中戦争』所収文書から見る和平工作の諸相……………戸部良一、鹿錫俊、富塚一彦 第二十五号

【論文】

ポーランド孤児と日本……………黒 沢 文 貴 第二十三号

独ソ不可侵協定の予測……………	戸部良一 第二十四号
ドル防衛と日米関係 一九六三—一九六五……………	高橋和宏 第二十四号
沖縄返還交渉と台湾・韓国……………	波多野澄雄 第二十七号
日露戦争への道—三国干渉から伊藤の外遊まで—……………	黒沢文貴 第二十八号
平和条約以後の沖縄と日本外交……………	河野康子 第二十九号
明治末・大正初期の日露関係—敵か味方か、はたまた「友」か?—……………	黒沢文貴 第三十号

【研究ノート】

昭和初期における国際親善策の側面—シアトルの石灯籠と碑文を手がかりに—……………	本宮一男 第二十二号
日本の国際連盟脱退と中国の理事要求……………	神山晃令 第二十二号
列国議会同盟会議における南洋群島委任統治問題……………	神山晃令 第二十三号
杉原ヴィザ・リストの謎を追って……………	白石仁章 第二十三号
近代日本とペルシャ……………	日向玲理 第二十九号
重光外務大臣の「東西のかけ橋」演説草案……………	神山晃令 第三十号
昭和戦前期における宮内省御用掛と外交官—外務省記録を中心に—……………	芳澤直之 第三十号

【史料紹介】

昭和十年四月十六日の在京外国通信員接見における広田外相談話……………	濱口學 第二十一号
米国議会図書館が所蔵する戦前期外務省調書とその背景……………	熱田見子 第二十一号
霞関会文庫「中田敬義文書」について……………	……… 第二十一号
英国にある幕末・明治初期日本人の墓—日英交流史の側面……………	竹内春久 第二十二号
松岡外相ヴィシー訪問計画(昭和十六年四月)関連記録……………	濱口邦紘 第二十三号
外務省外交史料館所蔵「須磨弥吉郎関係文書」について……………	原口邦紘 第二十三号

フランス外務省政務通商局長レジェー叙勲関連記録……………濱口 學 第二十四号
昭和十六年三月二十七日の松岡外相と

ヒトラー総統及びリッペントロップ外相との日本側会談記録について……………浜井 和史 第二十四号

昭和十五年の「皇紀二六〇〇年奉祝日本万国博覧会」計画に関する外務省記録……………濱田 耕平 第二十四号

第二次世界大戦下日本・スペイン公使館昇格問題に関する須磨弥吉郎覚書……………原口 邦紘 第二十五号

昭和三年十月十一日付吉田茂宛佐藤尚武意見書……………神山 晃令 第二十五号

二〇一一年二月二日公開ファイル「日中国交正常化」ほか……………服部 龍二 第二十六号

王寵惠常設国際司法裁判所判事の後任選挙に関する長岡春一書簡……………神山 晃令 第二十六号

大平・蔣介石・沈昌煥会談記録——一九六四年七月……………服部 龍二 第二十七号

田中首相・スハルト大統領会談記録——一九七四年一月一五日……………服部 龍二 第二十八号

国際労働機関(ILO)との協力終止関係史料……………神山 晃令 第二十八号

外交史料館所蔵「外交公文」と明治初期外務省の編纂事業……………濱田 耕平 第二十八号

田中首相・ヒース首相会談録——一九七二年九月一八、一九日……………服部 龍二 第二十九号

昭和十三年一〇月一二日付澤田廉三宛長岡春一書簡

——常設国際司法裁判所との協力終止に関して……………神山 晃令 第二十九号

高田利貞「奄美群島ノ戦後処理ニ就テ」……………原口 邦紘 第三十号

外交史料館所蔵史料に見るドイツ戦後賠償の形成過程

——現物賠償、戦争賠償、ナチスの不法に対する補償……………編纂室 第三十号

【調査研究】

第二次世界大戦前夜における極東地域のユダヤ人と日本外交……………石田訓夫、白石仁章 第二十六号

【研究動向】

日本近現代史研究の動向と課題——「帝国日本」と「近代」をめぐる——……………波多野 澄雄 第二十三号

【活動報告】

閲覧室・最近の整備状況……………第二十一号
戦後期外務省記録の利用方法について……………第二十三号
「日本外交文書デジタルアーカイブ」について……………第二十三号
戦前期外務省記録の劣化状態調査……………第二十四号
公文書管理法施行後の外交史料館の役割と利用方法……………第二十五号
外交史料館所蔵戦後期外務省記録の状態調査……………第二十五号
外交史料館所蔵史料の検索性向上を目指して……………第二十八号
外交史料館における保存活動——保護・代替化を中心に——……………第二十九号
整理保存班……………第二十九号

【『日本外交文書』関係記事】

『日本外交文書』八〇年に寄せて……………杉山 晋輔 第三十号
『日本外交文書』八〇年に寄せて——二国間外交文書から多元的国际関係文書へ——……………三 谷 太一郎 第三十号
『日本外交文書』発刊八〇年によせて……………五百旗頭 真 第三十号
『日本外交文書』編纂の思い出……………白 井 勝美 第三十号
『日本外交文書』編纂・刊行事業の八〇年……………波多野 澄雄 第三十号
『日本外交文書』刊行一覧……………第三十号
『日本外交文書』編纂委員会委員長・委員一覧……………第三十号

【エッセイ】

外交史料館別館の図書室について——吉田茂元総理の蔵書に囲まれて——……………黒田 瑞大 第二十七号

特別展示「マッサン展」に寄せて―知られざる歴史秘話と展示に向けた作業の顛末―……………高橋周平、白石仁章 第二十八号

【戦後外交記録公開】

第二十回外交記録公開の概要について…………… 第二十二号
第二十一回外交記録公開の概要について…………… 第二十三号

【『日本外交文書』概要】

「サンフランシスコ平和条約 対米交渉」…………… 第二十一号
「昭和期Ⅱ第二部第五卷（昭和十一年対欧米・国際関係）」…………… 第二十一号
「昭和期Ⅱ第一部第五卷上・下（昭和十一年―十二年七月対中国関係）」…………… 第二十二号
「サンフランシスコ平和条約 調印・発効」…………… 第二十三号
特集「太平洋戦争」…………… 第二十四号
「日中戦争」（全四冊）…………… 第二十五号
「第二次欧州大戦と日本 第一冊 日独伊三国同盟・日ソ中立条約」…………… 第二十六号
「第二次欧州大戦と日本 第二冊 大戦の諸相と対南方施策」…………… 第二十七号
「昭和期Ⅲ第一卷・第二卷」…………… 第二十八号
「昭和期Ⅲ第三卷」…………… 第二十九号
「昭和期Ⅲ関係調書集」…………… 第三十号

【特別展示・企画展示】

「吉田茂展 没後四十年」について…………… 第二十二号
「日本とブラジル―史料でたどる交流史―」について…………… 第二十二号
「日英交流事始―幕末から明治へ―」について…………… 第二十三号

「外交史料に見る日本万国博覧会への道」について.....	第二十四号
「日中戦争と日本外交」について.....	第二十五号
「大震災と外交―関東大震災と明治・昭和三陸地震―」について.....	第二十六号
「サンフランシスコ講和への道」について.....	第二十六号
「外交史料館に聞いてみよう！「外交史料Q&A」展」について.....	第二十七号
「日本とスペイン―外交史料に見る交流史―」について.....	第二十七号
「地図アラカルト 世界と地域」について.....	第二十八号
「日本とトルコ―国交樹立九〇年―」について.....	第二十八号
「日本とペルシャ・イラン」について.....	第二十九号
「幕末へのいざない」の紹介について.....	第三十号

【その他】

細谷千博先生と外交史料館.....	石田 訓夫	第二十五号
細谷先生と外務省へのまなざし.....	波多野 澄雄	第二十五号
「最高の学者」細谷千博先生の思い出.....	有 賀 貞	第二十五号
細谷千博先生の思い出―細谷・池井合同ゼミから十大学合同セミナーへ―.....	池 井 優	第二十五号
出会いとえにし.....	石 井 修	第二十五号
細谷先生の国際ネットワーク.....	入 江 昭	第二十五号
細谷先生との思い出.....	白 井 勝美	第二十五号
まっすぐ外交史料に向き合った細谷さん.....	海 野 芳郎	第二十五号
細谷千博君を偲ぶ.....	大河原 良雄	第二十五号
Professor Hosoya Chihiro (1920-2011).....	イアン・ニッシュ	第二十五号

【外交史料館ニュース】

開館時間の延長	第二十一号
所蔵記録のマイクロフィルム、デジタル化の実施	第二十一号
「外交史料Q & A」の掲載	第二十一号
特別展示	第二十一号
企画展示	第二十一号
人事短信…主な動き(平成十八年度)	第二十一号
戦後外交記録公開	第二十二号
所蔵記録のマイクロフィルム、デジタル化の実施	第二十二号
外交史料館所蔵条約書のアジア歴史資料センター、デジタル展示会への出陳	第二十二号
「外交史料Q & A」の掲載	第二十二号
第九回外交文書編纂者国際会議(二〇〇七年ダブリン会議)への参加	第二十二号
展示	第二十二号
「霞関会文庫」の公開	第二十二号
戦後外交記録公開	第二十三号
所蔵記録のマイクロフィルム、デジタル化の実施	第二十三号
「外交史料Q & A」の掲載	第二十三号
展示	第二十三号
外交史料館利用規則の改訂	第二十三号
『日本外交文書』の外務省ホームページへの掲載	第二十三号
歴史的文書の「要公開準備制度」の運用開始	第二十三号
外交記録公開	第二十四号
所蔵記録のマイクロフィルム、デジタル化の実施	第二十四号

展示.....	第二十四号
「須磨弥吉郎関係文書」の公開.....	第二十四号
外交記録公開.....	第二十五号
所蔵記録のマイクロフィルム、デジタル化の実施.....	第二十五号
「外交史料Q & A」の掲載.....	第二十五号
展示.....	第二十五号
「川上俊彦関係史料」、「侯爵小村寿太郎伝」の公開.....	第二十五号
外交記録公開.....	第二十六号
所蔵記録のマイクロフィルム、デジタル化の実施.....	第二十六号
「外交史料Q & A」の掲載.....	第二十六号
展示.....	第二十六号
外交記録公開.....	第二十七号
所蔵記録のマイクロフィルム、デジタル化の実施.....	第二十七号
展示.....	第二十七号
連携展示.....	第二十七号
第一二回外交文書編纂者国際会議（二〇一三年ジュネーブ会議）への参加.....	第二十七号
外交記録公開.....	第二十八号
所蔵記録のマイクロフィルム、デジタル化の実施.....	第二十八号
展示.....	第二十八号
外交記録公開.....	第二十九号
所蔵記録のマイクロフィルム化、およびデジタル化の実施.....	第二十九号
展示.....	第二十九号
「通信全覧」「続通信全覧」の重要文化財指定.....	第三十号

外交記録公開.....	第三十号
所蔵記録のマイクロフィルム化及びデジタル化の実施.....	第三十号
展示.....	第三十号

【参考・口絵写真】

ハーグ平和宮に日本政府が寄贈した壁飾綴錦(金地花鳥模様)縮尺略図(甲、乙)(以上第二十一号)、日米修好通商条約/日英修好通商条約/日仏修好通商条約(以上第二十二号)、日英修好通商条約/日英修好通商条約日本側批准書〔複製〕/日英修好通商条約批准書交換証書/日英通商航海条約(一八九四年調印)調印書/日英通商航海条約批准書(以上第二十三号)、日本国独逸北部連邦修好通商航海条約批准書/日本国独逸北部連邦修好通商航海条約批准書(日本側)/日独通商航海条約批准書(サイン部分)(以上第二十四号)、二〇〇五年六月十日、外交史料館会議室においてインタビューに答える細谷先生。『外交史料館報』第十九号所収「シベリア出兵研究の今日的意味―『シベリア出兵の史的研究』の思い出―」参照。/一九七一年四月十五日、外交史料館の開館を記念して講堂で講演を行う細谷先生。『外交史料館報』創刊号所収「歴史の教訓」参照。/一九七一年四月初旬、外交史料館開館に伴い、外務省「外交文書室」の編纂陣と「記録班」の一部が外務省分室(通称「耐爆倉庫」)から外交史料館へと移転した。その当時の「耐爆倉庫」前での記念撮影。(以上第二十五号)、沖縄返還協定調印本書(一九七一年六月十七日調印)/日中共同声明(一九七二年九月二十九日調印)(以上第二十六号)、大日本国西班牙国条約書(調印書)/大日本国西班牙国条約書日本側批准書/大日本国西班牙国条約書スペイン側批准書(以上第二十七号)、日本国トルコ国間通商航海条約書(調印書)/日本国トルコ国間通商航海条約書トルコ側批准書/トルコ国との平和条約(ローザンヌ条約)認証謄本(以上第二十八号)、降伏文書(一九四五年九月二日調印)/連合国からの「指令第一号」(一九四五年九月二日)(以上第二十九号)、「通信全覧」「続通信全覧」/「咸臨丸風波の図」(以上第三十号)